



このような新聞記事が

ありましたか？

小林徳蔵

五月末、神戸市で小学校六年男児殺害事件が起き、六月末に容疑者が逮捕されました。捕まったのが十四歳の男子中学生と知らされた世の中に強い衝撃が走りました。少年は三月に起きた小学生女児殺傷事件も、自白していると報じられています。

小学生女児殺傷事件で犠牲となった山下彩花さんの母親の言葉が新聞に出ていました。次に引用しましょう。

「道案内してあげよう。」という彩花の親切心を逆手にとった、人間にあるまじき行為を、許すことはできません。

「困っている人を助けるためだったんだよね彩花らしいね」と、夫と二人で涙しました。

「野菜」「実験」などと少年(筆者注、容疑者)が言っているのですが人の命を物とみているのでしょうか。人への思いやりとかについてどんな教育を受けてきたのでしょうか。

(以上引用は7/26毎日新聞より)

の教育」とは何か」と題する長文がありました。以下、1、4は、教授の意見に触発されてわたしなりにまとめた要約です。

1. (個人主義と利己主義とは別のものです。)

個人主義はキリスト教文化のもとに産まれた特殊な思想で、キリスト教徒は唯一絶対の神を畏怖し、神が常に自分をみておられるから厳しく自律します。そこから自立・自己責任が生まれ、それを背景に主体的に行動するから自由があり個性が確立します。これが個人主義です。

だから、もしキリスト教信仰がなければ自律も、自衛・自己責任も、利己主義も、自由は勝手気ままとなり、利己主義となります。キリスト教抜きで個人主義の確立はありえないのです。

こういうわけで利己主義者はいくら(生命の大切さ)を教えても、(自分の生命の大切さ)と受け取るだけです。

2. キリスト教が明治時代に紹介される前は日本は儒教文化の下の家族主義でした。儒教は多神教です。神でなく人間が世界を動かしており、家族を単位とします。家族は(生命の連続)と意識します。この(生命の連続)が祖先祭祀や墓参り(日本仏教がそれらを取り入れている)や子孫一族の繁栄願望として表現されています。

3. 人間それぞれ個体は祖

集団疎開で深へ(二)

人見教良



近頃は、新聞でも殆ど触れられない集団疎開で、深へお世話になったのは、戦争末期の昭和十九(四)年秋のこと、あれから五十二年余りが過ぎ去った。

当時、戦争の真っ最中とは言え、僅か九歳から十二歳の子どもたちが親許を離れ、長期間遙か離れた見知らぬ土地で集団生活をしました。

当事者の私達にとっても、遙か昔の出来事で細かい日々の記憶は殆ど忘却の彼方へ行ってしまう。覚えてるのは日記に食べた物の記述が非常に多いこと、村の人に感謝していると云う言葉の多いこと、及び、戦争に関する記述の多いことである。

太平洋戦争で日本の敗色が段々濃くなってきた昭和十九年、大都會の児童たちは政府の方針によって強制的に疎開させられた。行先は全国の地方都市と郡部(農山漁村)である。

選択肢は三つあり
第一は「縁故疎開」で、個人的に大都會以外の親戚や知り合いに疎開すること。

第二は「集団疎開」で、縁故疎開先の都合のつかないものを学級単位で農山漁村に疎開させること。

第三は家庭の事情などでどうしても疎開できず、大都會に残るもので、私達はこれを「残留組」と呼んでいた。

(注)現在は文献(百科辞典その他)などで学童疎開と云う言葉を使っているが、当時そのような表現はなく、当事者の私達には全く馴染みがない。

私達は集団疎開で深へ行ったのであり、他のものは縁故疎開か残留組である。ただし、疎開学童とか、疎開児童と云う言葉はあった。これは疎開した児童を表わしている。

以下次号に続く。▲
人見さんは終戦前半年間、集団疎開児童として深へ来られました。この度、本紙へ貴重な寄稿をいただきました。心より感謝いたします。

先から続いてきた家族という血で繋がっている共同体の一員として存在しているのです。生命の連続である家族に対して個体は畏怖の念を持つのです。つまり、家族は一人一人個体の利己主義を許しません。

4. これまで述べたことを整理して言えば、人間の利己主義を抑制するのは、キリスト教の場合には神であり、儒教の場合には家族なのです。

5. 日本人がキリスト教を理解するのは困難ですが、祖先祭祀や墓参りなどは皮膚感覚として生きています。

そこで「心の教育」では、自分一人の生命でなくて、過去へ祖先へから現在へ、さらに未来へ(子孫一族)へと(連続する生命)の大切さ儒教文化の生命感・家族観を正確に教えるべきではないでしょうか。

中国の旅こぼれ話五

一人っ子政策について

高崎壽郎

今、世界の人口をおよそ六十億人として中国は約十二億人で、世界人口の五人に一人は中国人という計算になる。

中国には急激な人口増加を抑えるため、一家族子ども一人の「一人っ子政策」を打ち出しこれを推進している。

計画的に生み育てるという意味からか、「計画生育」というのが正しいらしい。

ガイドは、「都会では一人っ子政策は徹底しているが、農村では平均二人以上産んでいる。中国人は十二億というが実際は十四億ぐらいの人口がいる。約二億は表面に出ない数である。都会では戸籍がはっきりしており、困りの眼も厳しい。もし違

反して第二子を産むと、目玉が飛び出る程罰金を取られる。公務員なら失職する。農村では、まだまだ人手がほしいので高い罰金を払ってでも子供を欲しがるといふ男の子を、男子を生まない嫁は半人前といわれる。だから、初め女の子が誕生するともう一人産む。その子が男なら戸籍を入換える。二子以下は長子と比べていろいろな面で差別的な扱いを受けている」といふ。

広い畑で人力に頼る農村の様子をみてみると、子どもを欲しがるとの中国旅行へ出発直前の一昨年十月一日、我が国では何十勢調査があった。日本では何十

何人まで正確にわかるが、広い中国ではそうゆう訳にはいかない。我が国の出生率は約一・五人弱で、今後はもう人口増は無いらしい。

日本では政策ではないのに少子化傾向にあり、中国の一人っ子政策を考える時皮肉な感じがする。

中国で「計画生育」が始まっておよそ二十年。子どもは小皇帝といわれ、甘やかされ、自分本位で他人のことには無関心な子が多いときく。「兄弟・姉妹」の意味もわからないとか。彼らが国の指導者になった時、どんな政治をするのだろうか。なぜかひどく心配になる。

今後、中国の人口問題がどのように推移するか注目していきたい。次号は「中国人の気質」▲

町内各種団体行事予定

- ◆小学校(幼)
 - ▼全校登校・園日 二日
 - ▼二・三年登交日 二日
 - ▼幼・一・五年登校日 二日
 - ▼四・六年登校日 二日
 - ▼PTA環境整備作業 三日
- ◆消防団
 - ▼ソフトボール大会(三市会) 三日
 - ▼やっさ踊り警備 八日
- ◆女性会
 - ▼親睦会 七日
 - ▼料理講習会 七日
- ◆町内会
 - ▼粟粟二日
 - ▼町民会大発表 二日
 - ▼連合会役員会 二日

展望

神戸小学生連続殺傷事件は、警察や報道機関を通して社会への挑戦で、日本中を震え上がらした。が、中学生の犯行とわかり、学校教育のあり方、特に知育教育と情操教育のバランスが話題となった。言葉で教育のあり方をいくら論じても、社会構造が学歴偏重である限りは正されることは先ずない。現職から身を引いても尚、「元」が頼りかたす日本人の精神風土は不変である。企業も、会長・名誉会長・顧問と、よくもまあ、考えるものではない。高邁な教育論はその道の人にお願いするとし、我々一市民は刑法犯の底年齢化をどう受け止めたらよいのだろうか。(元六年刑務官) 高崎壽郎

校舎と共に(十七)

石井哲代



星座教室
夏の夜の星座

五年生の理科で星座を勉強します。夏休みの一夜を「星を観る会にしよう」と話し合い実現しました。夏休みもひとつとなりました。子ども達は星座教室よりも先ず夜の庭での集いがうれしかったのです。線香花火をパチパチ、シューシューのグルーブ。シューッ、シューッ、シューッ。パチパチ、クルクルのねずみ花火に逃げるのに大騒動。家の回りは危ないからと自粛していた、ドカーン。シューッの大きな花火が出来るのだからもう大はしやぎ。

一しきり あばれまわり、花火もなくなくなった頃から目を夜空へむけます。校舎の裏山の空から南天へむかって大きく揺るがる白い天の川。

「ウワッ これが天の川でみんな星？」感嘆の声、声。そして天の川の中を大きな翼を揺らげて悠々と浮かぶ白鳥座。ここが首で、ここが尻尾になり、このように翼になる」と懐中電灯の光で指す教師。「ほんまよー見える見える」の歓声と感激。

「あの尻尾の大きい星は一等星でデネブですね。」と女の子の暗闇の中からみんなの目が女の子に注ぐのがわかる。「ウワッ よう知ってるの。」「理科の本で習うたろうで。」(カタカナ文字の星の名をよう憶えない教師はホクホク)

深の方言なまり

石井良雄



やげる 繁茂する
やっちもな むだごと
やっぱし 矢っ張り
やまんなか 山中
ややおし 複雑
やれのお やれやれ
やんちゃくさい 面倒くさい

(ゆ)
ゆーかす 教える
ゆーれん ゆうれい
ゆうまあ 言うまい
ゆんべ 昨夜

(よ)
よーだち 夕立
よーはん 夕飯
よーまこき 世話やき
よがわ 夜川で魚をとる
よざるひき 夜更しすること

「白鳥座の傍のこれが琴座、見つけ方は二つの星と一つの星」と懐中電灯が動く。

「その一等星はベガよ」と、又女の子「ベガ」「ベガ」みんな嬉しくなって反復する。

「これが七夕さんの織姫さんよ、そこから天の川を渡ったところ三つ並んだ星、わし座、七夕さんの牛を飼う男の人。」「そこそこの一等星はアルタイルですよ。」と又女の子。

「アルタイル、アルタイル。」上気したようなみんなの声。「ずー」と南、豊重さん方の山の上の空に大きなS字の横たわった形、これがサソリ座。こちらが頭で心臓の星、そしてぐーと曲がって尻尾。」と懐中電灯は、大きく動く。「心臓の赤く大きい一等星はアンタレスよ。」女の子が言う。「アンタレス」「アンタレス」口々に叫ぶ。丸く、いかにも西洋の王様に似合うような美しい かんむり座もみつめました。こぐま座の北極星は校舎の裏山すれすれでした。北斗七星はどうだったかな？

星座、星の名前をよく調べよく憶えて実際にきらめく満天の星空の中で見つけ教えてくれた女の子、集まった全校の子ども達も思い思いに懐中電灯で照らしながら満天の星を眺めました。

深町をすっぽりと覆う降るような星座を、無窮のきらめく星空を只じっと見上げる子ども達でした。夏休みの夜の楽しい行事でした。(注)

翌日は鶏や兎や水やり当番の子ども達が花火の後始末をしてくれました。図書室では、星に関する本が逆もよく読まれました。▲

よっぱて 夜通し
らくんなあ つらい
りゃーねん 来年
りんりき 人力車

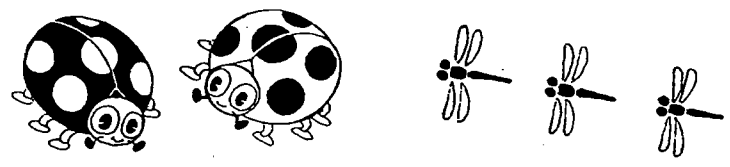
(ろ) 毒
わがた 吾が家
わやにする 無茶にする

(完)
深町の方言は 新・郷土誌で保存する予定です。お気付の点は高崎に一報ください。

ありし日をしのびて

梶谷マサヨ

経よめば無念夢想の境地なり
夜のしじまにローソクゆらぐ
亡き夫の寫経の本をひもときて
なつかしき字を見つゝ、経をよむ
里芋の出来ほめし人今はなく
誰か知らずや思い出となると
誌友より歌作ること誘われし
歌出来なくて涙先だつ
誰がために食事作らん厨に立てど
又も我が心隙間風吹く
振りむけば首の姿今はなく
軽きを持ちて分骨にゆく



盆踊りを盛り上げよう

深町女性会

八月の声と共にお盆が近づいて参りました。町内会連合会の盆行事の一つ盆踊りのお世話を、女性会が担当することになりました。盆踊りの輪が年々小さくなっていくことに、一抹の寂しさを感じている方もおられるのではないのでしょうか。古くから伝わる「口説き」に合わせて、昔ながらに町民が一つになって踊り興じるひとときが持てればと願っています。また、伝統ある盆踊りを子ども達に伝えることも意義があると思います。練習を次のように計画しています。子どもさん孫さんを誘って、最寄りの会場へお出かけください。

場所	練習日	指導者
上公民館	八月廿二日	西澤幸
町民会館	八月廿三日	崎志原七子
下公民館	八月廿四日	小林肇

奨励賞 三点

第四六回 市美展に次の方々の入賞がありました。
洋画 林 宗聡・梶谷幸佑
写真 内海一彦(深小)

深町では、洋画十一名、写真一名が出品されました。洋画八名は深町中学校の作品、入賞おめでとうございます。

野球部創設5年目の快挙



如水館高校 夢の甲子園へ
七月三十日第79回全国高校野球選手権 広島大会決勝戦で、郷土の如水館高校は七対一で強豪崇徳高校を破り甲子園出場を決定。
昨年は今一歩で涙を飲んだが、今年は創設五年にして宿願達成。
甲子園は高校球児にとって晴れの舞台 健闘を祈る。

盆行事のお知らせ

町内会連合会は、今年も例年どおり八月五日(金)お盆行事を行います。この一年間に亡くなられた方の慰霊祭、太鼓踊り・手踊り・カラオケ大会・夜店と最後に「豪華景品の当る」くじ引きがあります。ご家族お揃いで深小学校にお出でください。
尚、村上議員の骨折り、市教育委員会に深町の伝統文化保存行事として、盆太鼓三個の助成申請をしています。教育・文化の町と位置づけたいものです。